

2023年度 長寿の里 事業報告

自令和5年4月 1日
至令和6年3月31日

2023年度 長寿の里 事業報告

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R4 実績	96.7	97.7	98.3	96.9	95.7	96.0	96.6	95.9	94.5	95.2	96.6	97.7	96.5
	R5 目標	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1
	R5 実績	96.9	96.6	97.5	95.9	96.7	97.1	97.2	97.2	97.5	97.0	98.4	96.6	97.0
短期	R4 実績	106.2	103.8	106.7	105.5	107.7	103.8	101.5	104.1	95.7	103.0	105.7	99.4	103.6
	R5 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	R5 実績	101.3	105.8	103.6	100.4	99.9	104.7	102.2	106.9	104.6	104.0	103.3	103.1	103.3
通所	R4 実績	89.6	93.9	95.0	96.3	93.2	94.2	95.1	96.9	94.5	92.4	94.7	95.9	94.3
	R5 目標	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5
	R5 実績	96.7	97.1	96.6	96.6	94.8	97.0	97.0	95.8	94.5	90.9	93.6	95.3	95.5
ケアハウス	R4 実績	99.2	99.9	99.1	100.0	99.5	99.3	99.7	98.7	99.9	98.1	97.4	99.0	99.2
	R5 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R5 実績	99.5	99.7	99.2	98.5	99.7	96.9	95.6	98.9	98.1	94.8	94.5	99.6	97.9
サ高住	R4 実績	99.0	97.2	91.0	92.0	92.0	91.0	96.0	91.5	90.8	89.0	92.0	94.8	93.0
	R5 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R5 実績	96.9	94.4	96.0	96.0	98.0	98.0	95.0	92.0	94.3	95.6	92.1	92.0	95.0
有料	R4 実績	99.0	100.0	100.0	95.8	97.0	99.4	98.0	95.8	96.0	99.0	97.0	92.0	97.4
	R5 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R5 実績	96.0	100.0	100.0	100.0	99.0	98.0	100.0	95.2	94.1	92.3	88.7	84.0	95.6
訪問(件数)	R4 実績	4942.0	5062.0	4932.0	4865.0	5069.0	5010.0	5505.0	5353.0	5153.0	5408.0	5089.0	5514.0	5158.5
	R5 目標	4840.0	5017.0	4850.0	5027.0	5027.0	4890.0	5047.0	4890.0	5057.0	5067.0	4987.0	5067.0	4980.5
	R5 実績	5405.0	5685.0	5491.0	5627.0	5623.0	5414.0	5544.0	5270.0	5450.0	5371.0	4800.0	4948.0	5385.7
居宅(件数)	R4 実績	68.0	68.0	64.0	61.0	64.0	62.0	66.0	63.0	61.0	61.0	59.0	59.0	63.0
	R5 目標	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0
	R5 実績	63.0	60.0	61.0	61.0	64.0	63.0	72.0	66.0	67.0	68.0	67.0	68.0	65.0
GH	R4 実績	100.0	100.0	96.9	97.1	94.4	97.2	93.0	99.8	97.9	99.1	98.4	100.0	97.8
	R5 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R5 実績	98.2	98.8	97.0	98.7	99.5	100.0	100.0	100.0	98.9	97.1	100.0	96.9	98.8
小多機	R4 実績	81.8	79.6	72.1	83.0	83.0	77.5	75.1	76.8	70.8	68.9	59.3	75.6	75.3
	R5 目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	R5 実績	62.5	71.8	71.1	75.4	72.1	74.4	79.5	70.4	73.3	68.1	54.8	71.3	70.4

2023年度 鎌ヶ谷翔裕園 事業報告

施設基本方針

Re

～再構築、再結合、再活性、そしてご家族や地域と笑顔で再会～

施設年度目標

- ・ 人財確保
- ・ 安定した運営と適正な経営
- ・ 鎌ヶ谷市地域への地域貢献活動

重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【特養】 年間平均稼働率 96.5% (従来) 96.4% (ユニット)

特養は従来型、ユニット型共に年間稼働目標を達成する事が出来ました。目標に達していない月も多い状況でしたが退去後の空床期間を1日以下に抑えた結果、通年で目標達成に繋げる事が出来ました。

行事やイベントを昨年よりも充実させるだけではなく、栄養マネジメント強化加算を算定する事で頻度の高く栄養状態の変化に迅速な介入が出来る様になり、お元気に永く楽しい生活を送って頂ける体制が取れるようになって参りました。加算の算定により収入増にも繋がっており、サービスの質に物価高騰が影響しないようにする事が出来ました。老朽化したベッドや車いすの入れ替え、ユニットへのaamsの導入等、業務効率化や顧客満足度向上に繋げる動きを取ることができました。

【短期入所】 年間平均稼働率 101.8%

通年に渡り、ほぼ稼働目標を達成し続ける事が出来たため、年間目標を達成する事が出来ました。恒例となっている野菜作りからの収穫祭、アクティビティや行事など、活動を楽しみにご利用いただける方もいらっしゃる等、近隣同種サービスとの差別化が出来ており、稼働の安定に繋がっています。感染症対策として長期間利用者を通常の倍近く受入れしていましたが、令和6年度中に通常の割合である定員の1/3以下まで徐々に戻すことで、より多くのお客様にサービスをご利用いただく事が出来る様にしつつ、更に稼働を上げられるようにいたします。

【通所】 年間平均稼働率 88.7% (定員35名)

年間48件の新規契約を獲得しているものの、特に下期に登録解除が集中し、年度末まで稼働を改善する事が出来ず目標未達となりました。昨年度までの食事系イベントだけに頼る体制ではなく、アクティビティを新たに考えたりクラブ活動を披露する機会を作るなど、やりがいを持って継続的かつ主体的に活動に参加して頂ける様に活動して参りました。新規獲得件数の目標を60件として、今まで培った営業方法のブラッシュアップと実施の徹底をする事で、令和6年度は稼働率目標及び予算を必達いたします。

【居宅】 年間平均稼働 39.8件

法令遵守し、減算や指導事項等なく適法に事業運営を行って参りました。プラン件数も下半期からは40件以上を安定して稼働させる事が出来ています。

【全体総括】

コロナ5類を受けて、面会の条件緩和や、行事へのご家族・地域住民・ボランティアの受け入れなど、ビフォーコロナに戻るのではなくアフターコロナへと変化する一年となりました。コロナの経験があったからこそその気づきが沢山あり過去の「当たり前」に対する有難みを改めて感じながら、お客様やご家族、職員への感謝を形にする一年となりました。お客様の賀寿のお祝いを、敬老会だけでなく誕生日にご家族と会食してお祝いして頂いたり、いつもの頑張り感謝して全職員に元気餃子を配ったり、グッジョブカードで職員同士感謝を伝えあったりして参りました。

ボランティアや地域との繋がりの再構築に向けて、自治会合同の防災訓練イベントを実施致しました。地域でも最大規模のお祭りである産業フェスティバルに出店し、鎌ヶ谷翔裕園を地域の方に認識して頂く機会を作ってきました。組織力の向上を最大のテーマとした令和5年度は、中途採用者の歓迎会開催や、Teamsを活用した報告・連絡・相談体制の強化、申し送り方法の見直しなど、様々な取り組みを続け、一昨年と昨年の離職率よりも年度内離職を低下させる事が出来ました。

令和6年度は【「心を込めて」誰に対しても、どんなに些細な動作でも人を大切に行動しよう】を基本方針とし、地域との関わりや行事・面会等で家族との関わりも以前に戻ることもあり、職員一人ひとりが心がけて人と接していくことで、繋がりが広がりトラブルを防ぐことにもなります。笑顔で優しく接することは誰でも気持ちの良いものです。お客様には安穏な日々を過ごしていただき、また新しく加わる職員が気持ちよく長く働ける環境となることへ繋げてまいります。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R4 実績	97.1	97.1	98.1	98.3	97.4	98.0	98.5	98.4	97.7	94.5	96.2	96.8	97.3
	R5 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	R5 実績	96.3	95.7	95.8	94.0	96.7	94.8	93.8	96.8	96.6	98.0	99.6	99.2	96.4
短期	R4 実績	104.1	103.7	102.3	102.3	106.9	103.2	100.1	101.2	101.1	100.8	105.0	101.4	102.7
	R5 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	R5 実績	97.0	104.8	100.8	101.5	97.8	101.8	103.4	104.2	103.0	100.5	103.2	103.0	101.8
通所(鎌)	R4 実績	91.8	90.5	93.7	95.3	90.1	94.8	99.0	99.8	98.0	77.0	83.7	89.5	91.9
	R5 目標	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
	R5 実績	91.4	92.4	87.6	92.5	88.3	90.2	91.6	88.1	85.5	85.3	83.8	87.6	88.7
居宅(件数)	R4 実績	38	38	35	35	39	37	42	39	37	37	36	36	37.4
	R5 目標	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40.0
	R5 実績	37	35	37	37	39	37	47	40	42	41	44	42	39.8

2023年度 行徳翔裕園 事業報告

施設基本方針

美酒と音も飯
～地域の方々やご家族と一緒に楽しみ、喜びを共感できる場を提供します～

施設年度目標

- ①基本方針『美酒と音も飯』をキャッチフレーズに、美味しいお酒と音楽とご飯のコラボを実施します。
- ②GG式転倒予防プログラムを継続し、お客様の健やかな生活から転倒骨折による入院を防ぎます。
- ③理念浸透・組織力の強化・理念に合致する人材採用と離職率低下へ向け取り組みます。
- ④IT活用による業務の効率化を図ります。
- ⑤地域とのかかわりの中で『幸せの駅』としての役割を担い、地域貢献・地域福祉の向上を目指します。

重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【軽費老人ホーム】

年間稼働率97.9% (目標98.0%・対目標-0.1%・前年度比-1.3%)

令和5年度は、入居17件・退居17件で、入退居17件のうち7件が第4Qに集中したため、空床期間を抑える事が出来なかった事が目標稼働未達要因となります。(入退居に伴う空床日数平均は-10日)現在、入居待機者は減少傾向にありますが、これまでコロナ禍において面会が出来なかったこと等で入居を躊躇っていた方等へ再アプローチするとともに、引き続きデイサービスや居宅介護支援事業所、医療機関へ情報を発信し、入居待機者を確保していきます。入院については、昨年度7件から今年度13件、入院に伴う空床日数合計159日・平均入院日数12.2日となりました。主な入院の理由についても、持病の悪化によるもので、骨折入院は2件となっています。

②GG式転倒予防プログラムでは今年度ブロンズ認定を受けましたが、引き続き転倒による様々なリスクを軽減するためシルバー認定を目指してGG式転倒予防プログラムに取り組み進めます。

【通所】

年間稼働率97.9% (目標98.0%・対目標-0.1%・前年度比-0.4%)

令和5年度上期では目標稼働を達成しましたが、下半期が未達で年間稼働率目標0.1%の未達となりました。登録可能曜日情報だけでなく、お客様の各担当ケアマネジャーに利用時のご様子や笑顔を掲載した広報誌を、毎月の居宅訪問時に営業ツールとして活用し、情報提供と収集を行い営業ツールとして活用しケアマネジャーとの話題も膨らんでいます。期末の登録者数100名以上維持の目標は達成していますが、問い合わせがあっても、ご希望の曜日がご利用が条件付きでの登録となる事で、契約に至らないこともありました。毎月初めのショートステイや通院などでの確定休み日の調整し、早目のお知らせすること、また、行事などでの追加利用を募り利用人数の調整を行いました。第4Qにコロナ感染症によるご本人やご家族の発症により、調整が追い付かず年間稼働目標は未達となりました。

今年度の取り組みでは、ご来園の朝一番に甘酒提供や行事毎にお酒と様々な音楽を合わせた催しで、施設＝高齢者はお酒はダメという思い込み払拭に向けて実施をしています。また、月替わりのお風呂や健康茶で、優雅なバス&ティータイムを楽しんでいただきました。実施してきた取組みなど、介護支援事業所や関係機関へのPRとなり、ケアマネジャーからも好評をいただきました。今後もより楽しみながら、特別感を感じていただける雰囲気づくりをします。

【全体総括】

①「基本方針に向けた企画の実施」

基本方針に基づき、通所では来園時の甘酒・入居では月替わりのお客様手作りの食前酒を提供しています。また、毎月の変わり湯では、ワイン風呂や日本酒風呂なども取り入れました。また、日頃からお好きなレコードをお選び頂き、昔懐かしいレコードプレイヤーで音楽をお楽しみ頂きました。また筋力アップ・転倒予防・ADLの維持向上に効果のあると言われるメニューでの、筋肉カフェやアス飯ランチなども提供しました。

②「理念浸透・組織力の強化・理念に合致する人材採用・離職率低下」

前半期ごとの全体会議の開催はできませんでしたが、毎日の朝・夕のタイミングでの職員クレドの唱和を継続しています。面接時には企業理念の説明を行い、理念に共感していただける方の職員採用に注力しました。派遣から直接雇用への切り替えは1名に留まっています。また、地域の商店などへ求人広告の設置や、地域新聞への掲載など、地域の方への的を絞った求人活動を行いました。入職時の業務初日には、入職研修や先輩職員によるオリエンテーションを実施しています。来年度は、今年度おこなってきた事にプラスして、各部署で歓迎茶話会を開催したり、フォロー体制の整備や業務内容を明確化し組織力を高め定着率upにつなげます。

③「ITの活用」

他施設とオンラインで繋いで筋肉体操やげんき体操を毎月実施し、筋力アップと同時にネットで全国の方々や交流できる喜びを感じて頂きました。また、委員会や部署毎の会議などオンラインミーティングを開催し業務改善を図りました。即時の情報発信・共有については、インカムやラインワークスを引き続き活用していきます。

④「地域との関わり」

近隣の訪問医との連携継続により、コロナワクチンやインフルエンザの地域内接種を進めました。また、地域の方々気軽に立ち寄り相談できる安心スポットとして知って頂くために、イベント実施時には地域に向けた介護・看護・栄養相談コーナーや、地域の子供達に向けた催しコーナーを設置しています。同一ふれあい施設内の子供応援企画では、デカ盛りから揚げや元気餃子を利用した太巻きなどを部活後の中学生に提供し、保育園の園児さん達とは芋の苗植え・ハロウィン・秋祭り・さくらの日などの季節行事と一緒に楽しみました。来年度も、様々な世代の方が繋がり・楽しみながら・安心して、暮らせる地域の『幸せの駅』としての役割を担ってまいります。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
軽費	R4 実績	99.2	99.9	99.1	100.0	99.5	99.3	99.7	98.7	99.9	98.1	97.4	99.0	99.2
	R5 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R5 実績	99.5	99.7	99.2	98.5	99.7	96.9	95.6	98.9	98.1	94.8	94.5	99.6	97.9
通所	R4 実績	80.3	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.7	99.9	99.9	99.9	98.3
	R5 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R5 実績	99.9	99.9	99.9	99.9	96.8	99.6	99.9	99.9	96.4	87.5	95.1	99.9	97.9

2023年度 いちかわ翔裕園 事業報告

施設基本方針

Smile&Challenge
～どんな時でも笑顔で楽しむ！勇気を持って次のステップに突き進もう～

施設年度目標

1. 感染症に左右されない施設運営
2. お客様と一緒に楽しむケア
3. 地域と支えあう施設への挑戦

重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【特養】

管理課 相談部門

目標稼働率97.0%に対して年間平均97.9%と達成となりました。年始から年度末にかけて入院者・退去者ともに増加傾向にありましたが、年間を通しての入院者・退去者は前年より減少することができ目標達成に繋がりました。入院者の減少する取り組みとしては、多職種で感染症・口腔ケア・事故対策・食事介助・緊急時の対応の研修などを行い、ケアの見直しと向上を行いました。また、精神科・皮膚科の専門医を導入し、嘱託医とも情報を共有して体調管理に努めました。今後も研修や嘱託医との連携を強化し、入院者や事故が減少するように取り組んで参ります。稼働率安定の取り組みとしては、5月にケアマネが退職して一時的に相談部門が2名体制となりましたが、少数精鋭での効率的な営業活動を行い、他事業所と関係性を深めました。入居に繋がった施設には、次に繋がる取り組みとして「ありがとうカード」を配るなどし、定期的に相談が来るような関係性を築きました。またお客様の生活の充実の為、毎週ケアカンファレンスを行い、個別援助計画とケアプランの連動、状態変化などに合わせ対応しました。今後もお客様の意向や生活が充実するように、一人ひとりに合った居室環境はもちろん、お客様の生きがいや叶える為の取り組みも行って参ります。また日々お客様の様子の把握の為、ラウンドを行い他の部署と連携し、入院者を骨折事故など減少させ、次年度も目標稼働率を必達します。

介護課

楽しみながらその人らしい生き方が出来る環境作りと複数の選択肢から自己決定できる自立支援の実現に向け、お客様の生きがいや夢をリスト化し、多職種で連携により余暇活動や外出企画などを行いました。また楽しみながら出来る自律支援、個別ケアの充実力を入れ、お客様の趣味を活かした創作活動や昨年度より開始したいちかわファームでの園芸活動などをお客様と職員と一緒にいき、更に各委員会が主体となった勉強会や、外部の業者を迎え入れての研修などを実施し、介護職員のスキルアップに努めました。また、毎月各ユニットよりクレドに沿った感動介護を選出し「いちかわ感動介護賞」を決め、事例を共有しクレド浸透に取り組みました。次年度は、より多くのお客様の夢の実現と基本的なケアの見直し、GG式ケアプログラムを活用したケアの質の向上を行い、個別ケアの実践を行うことに加え、職員一人ひとりがやりがいと責任を持って仕事に取り組める体制を整え、長く働ける施設環境づくりを行って参ります。

管理課 栄養部門

今年度は「ジャンボチャレンジ」と称しお客様と職員で1つのものを作り上げるアクティビティを通して、食べるだけでなく料理することにも挑戦することができました。ここ数年間、施設で料理をする機会がほとんど無かったこともあり生き生きとしたお客様の表情を見ることができ、お客様一人ひとりの可能性を引き出すきっかけ作りへと繋げることができました。また、目の前でのパフォーマンスを交えた星空レストランの開催など、今までに無かった演出方法でお客様に五感で感じていただく食事提供を実現できました。口腔ケア関連では歯科医師と連携しお客様一人ひとりのケア方法について見直し、困難事例については個別指導をしていただくなどを積極的に進め、口腔ケア技術の向上に繋げました。今後も更なる向上ができるようGG式口腔ケアを取り入れ、口腔体操や口腔ケアの技術向上を積極的に進めて参ります。

管理課 医務部門

今年度は新たに精神科・皮膚科の専門医を導入し、医療ケアの向上に努めました。2月に病院・嘱託医師の変更があり、体制について大きく見直しがありました。持病の悪化や転倒事故による骨折等で入院者が発生し、長期化することもありましたが、年間を通しては入院者は減少しました。コロナ感染症についても、昨年度に作成したマニュアルの活用と定期的な研修により感染者を抑えることが出来た為、今後も感染症対策の継続をして参ります。また次年度はお客様の健康状態の把握を再徹底し早期発見、早期治療を行い入院者を減らすとともに、機能訓練加算の取得に向け施設全体で取り組んで参ります。

【全体総括】

稼働率においては目標達成となりました。今年度は上期にケアマネ1名退職した状況での営業活動となりましたが、待機者の確保が出来、前年度より入院者や退居者が減少したことが目標稼働率達成の要因となりました。またお客様のコロナ陽性者は発生しましたが、他フロアに拡大することなく終息するなど、昨年度の経験が生かされる結果となりました。ただし入院者は昨年より減少しましたが転倒による事故や誤嚥性肺炎、尿路感染症等による入院は発生した為、次年度は基本的ケアの見直しを行い、定期的な研修や福祉機器の活用を進め、ケアの質の向上に繋げて参ります。また下期にケアマネが入职した為、相談部門の業務を見直し、入居までのタイムラグを3日以内となるよう効率的な営業を行って参ります。職員採用においては非常勤職員の採用はできましたが、常勤の採用は難航し、さらに年度末に体調不良などの理由で退職者が続いたこともあり、介護職員の採用が急務となっております。今後は採用チームで採用を進め、新たな媒体の発掘、媒体含め外部への施設の魅力の見せ方、改めて全員人事制度を施設職員に周知する等し、直接雇用の職員を増やして参ります。また今年度から始めた職員が職員を認める「ありがとうカード」は少しずつ浸透してきましたので今年度も継続し、組織力強化に繋げて参ります。次年度はお客様やご家族、職員、地域全てが繋がること目標とし、地域との交流を活性化させ、お客様の生きがい・夢を叶える取り組みを行い、お客様はもちろん職員の満足度向上に向け施設全体で取り組んで参ります。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R4 実績	94.6	97.1	97.9	97.7	97.0	96.8	95.5	97.4	95.6	95.0	92.4	96.1	98.5
	R5 目標	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2
	R5 実績	96.3	96.4	97.9	99.1	99.4	98.4	98.5	97.6	98.9	96.7	97.7	97.3	96.1

2023年度 かしわ翔裕園 事業報告

施設基本方針														
Renovation ～新しい付加価値の創造～														
施設年度目標														
①各部署間の連携と組織体制の構築 ②地域へ向けてサービスの拡充 ③人材の採用と育成														
重点項目に対する実績報告(各事業ごと)														
<p>【サービス付き高齢者向け住宅】（目標95% 対目標比0% 対前年比+2%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度通し6名の退去者が発生。特に第4四半期において立て続けに介護度が重い方の退去が発生した。新規入居においてはタイムラグが発生。目標稼働は維持する事ができたが、年度末において1室の空床を埋める事ができず。 ・重度の方の退去、軽度の方の入居等、平均介護度が2.3となるが、現入居者のADLの低下が大きく見られている。だが、入浴用介護ロボットを導入した事により身体状況（重度化）に合わせたケアの提供ができています。 ・日々のアクティビティ活動等実施してきたが、お客様の身体状況の変化、人材の退職等により、定時・非定時含めた介護サービス量が増加し、個に特化した活動の展開ができなかった。 <p>【住宅型有料老人ホーム】（目標95% 対目標比+0.6% 対前年比-1.8%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通し退去者は少なく稼働率達成も、年度末に入院者が多く発生。新規については、介護度が重度の方の入居申し込みが少なく、軽度者からの応募が多くなっている。 ・重度化への対応については、入浴用介護ロボットを導入したが、1階のお客様のサービス提供には至っていない。エレベーターが開通次第、施設全体での使用ができるよう現在運用方法について検討中。 <p>【通所】（目標95% 対目標比+3.6% 対前年比-0.2%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の営業活動による新規獲得により曜日登録者は上限となっている。キャンセル待ち・突発的なキャンセル分を追加利用して頂く事で年間を通じて目標達成となる。 ・コロナ5類に移行した物の以前の様な外出イベントの開催までには至っていない。現在館内での各種アクティビティにて楽しんで頂いているが、大きな変革はできず。 <p>【訪問介護】（目標4230件 対目標比+431件 対前年比+202件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初から入居が安定していた為、目標件数を大幅に超える事ができた。だが、年度末にかけ、看取りによる退去やご逝去などが発生し提供予定回数を下回る状況も発生した。 ・訪問チームとして組織改革を実施。両フロア対応可能な職員の育成、シフト（勤務時間）の見直し等各種実施したが、組織に対しての違和感などで退職者が発生。現在も人材の確保、育成、定着が大きな課題となっている。また、組織体制が大きく変わり、今まで見えていなかった部分の問題が露呈し施設全体での問題解決が急務である。 ・人材確保については、年間約100件の応募があったものの現在も定着就業しているのは3名程。また、派遣についても有資格者からの応募も少なく、人材を選定しての補充ができず、常時不足している状況であった。 <p>【居宅】（目標25件 対目標比+0.2件 対前年比-0.4件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の状態の変化に合わせケアプランを見直し、必要に応じて区分変更申請を実施、併設訪問介護事業所と連動しながら支援に必要なサービス、ケアプランを作ることが出来ている。 ・個別のニーズに応えることが出来る様に社会資源を活用し介護保険に頼らないサービスの体制を整えている。 <p>【全体総括】</p> <p>全事業、目標値達成ができた。入居部門においては、年度当初稼働安定していたが、年度末に入院・ご逝去等により稼働率が低下。また、退去後の空室もなかなか埋める事ができず。通所においては、キャンセル等発生時、魅力ある各種イベントの声掛けにて追加利用を促す事で、安定した稼働率を維持する事ができた。訪問介護については、コロナクラスター等の時期もあったが、フォーマルなサービスを確りと提供する事で、目標値より大幅に件数を超え、安定した収益を確保する事ができた。人材については、年間を通し常時不足している状況であった。派遣数も年度末に7名を抱える事になり人経費を圧迫。なかなか人材が集まらない中、業務の見直し、ハード面の改修により効率化を図り、少ない人員での運営方法を構築していく必要がある。また、施設管理者を含めた強固な組織体制の元、職員一人ひとりが確りとレベルアップし、お客様のサービス向上に繋げていく。</p>														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
サ高住	R4 実績	99.0	97.2	91.0	92.0	92.0	91.0	96.0	91.5	90.8	89.0	92.0	94.8	93.0
	R5 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R5 実績	96.9	94.4	96.0	96.0	98.0	98.0	95.0	92.0	94.3	95.6	92.1	92.0	95.0
有料	R4 実績	99.0	100.0	100.0	95.8	97.0	99.4	98.0	95.8	96.0	99.0	97.0	92.0	97.4
	R5 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R5 実績	96.0	100.0	100.0	100.0	99.0	98.0	100.0	95.2	94.1	92.3	88.7	84.0	95.6
通所	R4 実績	99.9	99.0	99.8	99.8	96.0	99.0	99.0	99.8	99.0	97.0	99.0	98.0	98.8
	R5 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	R5 実績	99.9	99.9	99.9	96.0	96.4	99.9	99.9	96.4	99.9	94.6	99.9	99.9	98.6
訪問介護 (件数)	R4 実績	4289.0	4381.0	4275.0	4176.0	4356.0	4283.0	4789.0	4615.0	4420.0	4675.0	4431.0	4818.0	4459.0
	R5 目標	4110.0	4257.0	4120.0	4267.0	4267.0	4140.0	4277.0	4150.0	4287.0	4297.0	4297.0	4297.0	4230.5
	R5 実績	4726.0	4922.0	4760.0	4891.0	4875.0	4625.0	4746.0	4474.0	4679.0	4661.0	4217.0	4365.0	4661.8
居宅 (件数)	R4 実績	30.0	30.0	29.0	26.0	25.0	25.0	24.0	24.0	24.0	24.0	23.0	23.0	25.6
	R5 目標	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	R5 実績	26.0	25.0	24.0	24.0	25.0	26.0	25.0	26.0	25.0	27.0	23.0	26.0	25.2

2023年度 ふなばし翔裕園 事業報告

施設基本方針

The chosen one (選ばれし者)
 ～地域から選ばれる施設とは何かを追求～

施設年度目標

1. 職員の介護技術レベル・接遇レベルを強化し、施設の評判を高め、地域から選ばれる施設となる
2. 口腔ケアプログラムを導入し、お客様の健康維持に努め、稼働率の安定を図る
3. 機能訓練加算を取得し、エビデンスのある機能訓練を行う事で、お客様の健康を維持し、職員のレベルアップを図る
4. 入居部門・在宅部門が一体とあり、入居のお客様だけでなく、地域のお客様の介護の悩みに答える

重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【特養】 年間平均稼働率 96.38% (目標97% 対目標比 -0.62% 対前年比 +0.59%)

- ・目標稼働率達成できなかった。
- 要因①第一四半期、第四四半期に持病の悪化での入院や逝去が続いたため目標未達となった。
 - ②ショートステイと協力し空所を最大限に利用し、総稼働の維持に努め97.3%となる。
 - ③Hagの特性を生かした利用をすることで移乗や排泄介護の負担の軽減ができた。
 - ④病院などで行われている外部研修を活用し、介護技術の定着に努めた。

【短期入所】 年間平均稼働率 104.9% (目標100%以上 対目標比 +4.9% 対前年比 +0.4%)

- ・目標稼働率達成となった。
- 要因 ①新規の問い合わせも多く年間新規登録者数46件で目標達成
 - ②特養空床を最大限利用し稼働率の確保を行った。
- ・ケアマネからの日々の体操やアクティビティ関係の評判が高く、新規依頼の問い合わせも多くあったが、実際にはリピーターのお客様でほぼ2か月前の予約にて埋まってしまったため、施設からの提案にて空き日の紹介とキャンセル待ちの提案にて、特養ケアマネと連携し空床を最大限に利用し総稼働維持に努めた。
- ・営業に関しては、在宅部門で連携を行い、毎月月初には分担し実績配布をしながら営業を実施。イベント開催時には、広報誌を活用し契約時などに魅力訴求をおこない、集客へと繋げた。

【訪問介護】 年間平均訪問回数 700回 (目標 687回 対目標比 +13回 対前年比 +188回)

- ・目標訪問回数未達となった。
- 要因 ①令和5年度は、担当者会議等が再開され、各会議への参加や居宅への実績配布を行い、ケアマネとの連携を密に図る事により、新規依頼を受ける事ができ、稼働件数を増加させる事が出来た。第四半期以降は職員の退職により、受け入れを中止した事などが影響し、稼働件数が大幅に減少してしまった。
- ・訪問介護センターとして、施設日記や広報誌への記事掲載を定期的に行い新たな発信ツールとして活用出来た。
- ・施設内研修や職員交流会を開催し登録ヘルパーを含めた全ヘルパーが意見交換を行う場を設ける事が出来た。
- ・Temsを活用し、サ責間の情報共有を徹底する事が出来た。

【通所】 年間平均稼働率 96.8% (目標93% 対目標比 +3.8% 対前年比 +8.5%)

- ・目標稼働率達成となった。
- 要因 ①各月終了者が発生する一方で、終了者を上回る新規獲得をすることで稼働の維持に努めた。
 - ②既存のお客様の継続的な利用は元より、新規のお客様の長期的な利用へと繋げた。
- ・既存のお客様(ご利用より数年が経過するお客様)のADL低下に伴う転倒や入院、施設入居等で、四半期ごとに稼働率に波が見られるも、常に様々な活動を実施し、それらを外部、内部へとしっかりと発信をすることで、新規獲得、長期利用へと繋げることができ、高稼働を維持することができた。
- ・終了者11名に対し、新規獲得者19名、登録者36名で着地をすることができた。

【全体総括】

- ・年間稼働率目標に対して、ショートステイ、デイサービスが目標達成となる。訪問、特養についても、令和5年度を通し安定的な稼働を維持することができていたが、特養では3月クラスター発生により、入院者がでると同時に、新規のお客様の受け入れをすることができず、大きく稼働が低下し目標未達成となる。
- ・年間を通し、4事業の強みを活かし、常に訪問介護、デイサービス、ショートステイ、特養にて情報共有と営業活動を徹底し、外部、内部へと魅力訴求を行うことで、結果として全事業の集客と稼働維持に繋がりを見せている。
- ・特養については、既存のハグやリフトの活用と定着を徹底しおこない、お客様及び職員の心身負担の軽減に努めた。又、ケアプランに基づいた機能訓練を開始し、お客様の心身機能の維持、向上に向けたリハビリプランの作成と実践のベース作りをおこなうことができた為、次年度においては、よりお客様一人おひとりに合わせた機能訓練の実践をおこなっていく。
- ・訪問介護については、職員の退職にともない、第四四半期にかけ目標稼働件数を下回る結果となるも、第三四半期では、過去最多の稼働件数を残すことができた為、早急な人員確保によりエリア拡大を含め展開していく。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R4 実績	96.3	96.9	98.2	96.3	94.4	96.0	93.3	92.5	94.6	94.9	98.2	98.3	95.8
	R5 目標	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
	R5 実績	95.7	96.0	96.3	96.5	95.4	98.1	98.0	98.3	97.3	96.1	96.2	92.8	96.4
短期	R4 実績	108.3	103.9	111.0	108.7	108.4	104.3	102.9	107.0	90.3	105.2	106.4	97.4	104.5
	R5 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	R5 実績	105.7	106.8	106.3	99.4	101.9	107.7	101.0	109.7	106.1	107.4	103.5	103.2	104.9
訪問	R4 実績	653	681	657	689	713	727	716	738	733	733	658	696	699.5
	R5 目標	730	760	730	760	760	750	770	740	770	770	690	770	750.0
	R5 実績	679	763	731	736	748	789	798	796	771	710	583	583	723.9
つかだ	R4 実績	86.4	86.1	86.4	90.2	86.9	83.1	82.5	87.9	81.4	95.7	96.2	96.3	88.3
	R5 目標	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0
	R5 実績	95.4	96.0	99.1	97.9	97.7	98.2	96.7	98.8	96.2	96.0	95.4	93.8	96.8

2023年度 香流川翔裕園 事業報告

施設基本方針

Building a new community

～地域、仲間…全てのひとのためにベストを尽くそう～

施設年度目標

1. 地域との強い関係性の構築
2. 組織力の向上
3. 小規模多機能の安定した運営

重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【特養】 年間平均稼働率 97.5% (目標97.0%)

・空床発生時に小規模多機能の待機利用者だけでなく外部からも最短で入居できるよう努め、目標稼働率を達成することができました。小多機多機能利用中の待機者から連続して新規契約した際に、小規模多機能の稼働率が大幅に低下してしまったため、集中的に退居が発生する事態に備えて、施設内外に待機者を確保できるようにいたします。

・3名のお客様の看取り介護を行い、今年度より看取り加算を算定開始いたしました。

・動物園や水族館等の名古屋市の公共施設への外出を再開いたしました。感染対策のため少人数で出かけましたが、久しぶりの外出をお客様楽しんでいただくことができました。

・お客様の重荷が進み介助量が増加したことに加え人材確保に苦戦し、目標としていた残業費用を削減することができませんでした。令和6年度は特定技能職員を受け入れ、人員を安定させて参ります。

【グループホーム】 年間平均稼働率 98.8% (目標98.0%)

・入院者が発生した月もありましたが、短期間での入院で再入居となるケースが多く、目標稼働率を達成することができました。入院者数は令和4年度の半数に削減することができました。

・看取り介護を2名行いました。看取り対応中に点滴を希望されお客様のお身体に負担となってしまった事例がありました。尊厳ある看取りをするためにACPの重要性を改めて学びました。お客様やご家族のご意向に沿って、施設で最期まで安心して生活できるように看取り体制の見直しを行います。

・喫茶店やカラオケなどの近隣から県外の温泉まで、外出の機会を増やしました。県外への外出が初の試みでしたが安全に実施することができました。また、ドリームプロジェクトでの個別外出も実施しました。

・お客様の要望をお聞きしながら季節感のある献立で食事作りを行いました。

【小規模多機能】 年間平均稼働率 70.4% (目標80.0%)

・新規登録者数は前年度を上回り、相談・紹介件数も増加しましたが契約終了者も同様に増加してしまい、登録者数が減少したことで目標稼働率を達成することができませんでした。令和6年度は毎月新規3名の契約目標を達成し、長期利用に繋げることで登録者数を常時20名以上維持できるようにいたします。

・地域包括からの紹介が増えたことで平均介護度が前年度の2.7から1.8まで低下しました。主に通いサービスを利用するお客様のADLや認知症自立度に変化が見られるため、幅広い介護度のお客様にご満足いただけるアクティビティへ見直しを進めている最中です。お客様のニーズを把握し、活動に反映して参ります。

・認知症がある独居のお客様の相談が多く、不安を感じながら生活をされているお客様が増えており、訪問サービスの充実と職員の認知症対応力の向上が求められています。困難事例は短期間で利用が終了してしまうことが多いため、訪問サービスのあり方を再度見直し、職員の認知症ケアの質向上を目指すことで、長期間安心して利用できるサービスにいたします。

・月2回子ども食堂にボランティアとして参加する中で、他の地域イベントにもボランティアとして協力しました。社協が主催する認知症家族教室にも講師として依頼を受けて参加し、施設の認知度向上に取り組みました。

【全体総括】

特養とグループホームは目標稼働率を達成することができましたが、小規模多機能は未達成となりました。月平均105件の営業活動と地域活動による営業により相談件数や契約件数は増加しましたが、小規模多機能のサービスについて地域への浸透はまだ不十分であり、より一層の努力が必要な状態にあります。特に主軸とすべき訪問サービスについては利用回数も減少しているため、利用回数を増加させることで新たな加算も算定し収益の増加を目指して参ります。また、特養とグループホームの新規入居は小規模多機能の稼働状況を踏まえて入居者を選定し全事業が稼働率を達成できるようにいたします。

採用活動においては目標としていた学卒採用1名を達成することができました。学生ボランティアの積極的な受け入れにより学校との繋がりを強化することができています。中途採用においては全員人事制度を活用した職員紹介もありましたが、紹介会社経由での採用も多く、採用コストが増大してしまいました。またメンタルヘルス含む体調不良による退職や入職1年以内の早期退職が多くありました。令和6年度は教育体制の見直しや、指導者の指導力・面談技術の向上により新人のサポート体制を強化し、離職防止に取り組んで参ります。

地域活動は子ども食堂への参加をきっかけに拡大し、施設でも地域交流の場としてマルシェを開催することができました。外部での地域活動は職員が中心に参加しているため、お客様と一緒に地域に出る機会を増やし、施設外での地域交流の場を設けていきます。地域との関わりを増やすことで香流川翔裕園の認知度を向上させ、気軽に施設に立ち寄り相談をしてもらえる施設であるだけでなく、認知症ケアの質の高さやドリームプロジェクトによる生きがいの支援を施設の強みとし、地域で頼りにされる存在となるようにいたします。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R4 実績	98.8	99.5	99.0	95.2	94.0	93.3	99.0	95.3	90.0	96.5	99.6	99.7	96.7
	R5 目標	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
	R5 実績	99.3	98.4	100.0	93.9	95.3	97.0	98.6	96.3	97.1	97.1	100.0	96.9	97.5
GH	R4 実績	100.0	100.0	96.9	97.1	94.4	97.2	93.0	99.8	97.9	99.1	98.4	100.0	97.8
	R5 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	R5 実績	98.2	98.8	97.0	98.7	99.5	100.0	100.0	100.0	98.9	97.1	100.0	96.9	98.8
小多機	R4 実績	81.8	79.6	72.1	83.0	83.0	77.5	75.1	76.8	70.8	68.9	59.3	75.6	75.3
	R5 目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	R5 実績	62.5	71.8	71.1	75.4	72.1	74.4	79.5	70.4	73.3	68.1	54.8	71.3	70.4